

移動などの支援に関する検討について

茅ヶ崎市社会福祉協議会では、地区担当職員が市内13地区の地域支え合い推進員としても、地区のみなさんと様々な活動に取り組んでいます。

以前より継続検討となっている「移動などの支援」にかかる課題について、その後の動きについて共有したいと思います。

令和6年度までの動き

令和6年2月	地区社協連絡協議会「行政との懇談会」
生活場面における困りごとを確認するためのアンケートを実施し、それをもとに懇談・意見交換を実施。	
令和6年8月	地区社協連絡協議会「行政との懇談会」
アンケート結果から見えた高齢者の“移動の課題”(買い物やイベント参加)をテーマに懇談と意見交換を実施。→「地域行事への移動支援」に対し、市から事業所へ呼びかけの希望。	
令和6年12月	高齢福祉課主催 説明会(市内介護サービス事業所対象 オンライン) 「地域の高齢者を対象とした地域貢献活動への協力について」
地域より上がっているニーズを共有。すでに取り組みのある松林地区の事例を参考に、住民等の福祉活動の支援(高齢者の送迎)について提案し、アンケートを実施。 →6事業所より「協力が検討できる」との回答あり。	
令和6年12月 ～令和7年1月	上記6事業所へ訪問・ヒアリング(高齢福祉課・市社協)
具体的な連携に進められる反応の事業所が複数。また移動以外に対する協力の申し出もあり。	
令和7年2月	地区社協連絡協議会 研修会 「地区で取り組む外出・移動の支援の取組について」
地区では改めて、具体の取組みからヒントを学ぶこととし、研修会を開催。鶴嶺西(地区VC)、湘南(おでかけワゴン)の異なる形の取り組み事例を各地区へ持ち帰った。また、上記6事業所へのヒアリング結果の共有を行った。	

令和7年度の動き

生活支援体制整備事業を活用し、課題と支援の繋がる機会を作り、ニーズのある地区と協力を意向のある事業所とのマッチングを実施。

茅ヶ崎南地区	地区社協主催行事参加者の送迎に(株)ニッショウグッドウォークが協力
以前より、行事会場の高砂コミュニティセンターから距離のある地域に住む住民に対し地区社協がタクシーを手配し移動を支援していたが、費用負担が課題となっていた。第2層推進員が出席する会議で協議を重ね、地区内事業所であるニッショウグッドウォークへ相談。地区民児協の協力も受け6月25日開催「お楽しみ交流会」で試行的に6名の方の送	

迎が行われた。地区・事業所共に今回の取り組みは好感触で、次回以降さらに対象を拡大する他、今回の連携をきっかけに地域サロン等における体操教室講師を依頼する話なども生まれている。



小出地区	地区社協主催サロン参加者の送迎に(社福)麗寿会ふれあいの森が協力
------	----------------------------------

新型コロナにより休止していた地区社協主催サロン「ほのぼの小出」を再開したところ、以前参加していた方の中で、移動が困難となった事を理由に参加を見合わせる方がいることを確認。過去開催時には住民同士での送迎を行っていたが、担い手も減る中で再開が出来ず。そこで、アンケートにて協力を申し出てくださっていたふれあいの森の情報を提供。包括支援センターを中心に地域ケア会議等での協議を経て、6月11日開催時に試行的に9名の送迎が実施された。まちから協議会の協力も得て、次回以降も事業所との連携による送迎が実施できるよう、引き続き検討や調整を進めている。



南湖地区	サロン参加者減の要因分析から事業所との連携の可能性を模索
------	------------------------------

第2層協議体の中で、地区内サロンへの参加者が減少している課題に対しその要因を探るためのアンケートを実施し、送迎の必要性についても検討。協力の申し出があった事業所に会議へ参加いただき意見交換を行っている。またこの話の流れから、サロン等を開催する場として事業所を利用する提案を頂き、住民が集える拠点が不足するエリアに新たな集いの場を作るアイデアが生まれている。